

十戒

1-あなたにはわたしのほかに、他の神々があつてはならない。 2-あなたは自分のために偶像を造つてはならない。 3-あなたはあなたの神、主の御名をみだりに唱えてはならない。 4-安息日を覚えて、これを聖なる日とせよ。 5-あなたの父と母を敬え。 6-殺してはならない。 7-姦淫を犯してはならない。 8-盗んではならない。 9-偽りを言つてはならない。 10-欲しがつてはならない。裁きの日にはあなたは神の前に出なくてはなりません。神は情欲を姦淫だとみなされます。「誰でも情欲をいだいて女を見る者は、すでに心の中で姦淫を犯したのです。」(マタイ5章28節) 神は憎しみを殺人だとみなされます。「兄弟を憎む者はみな人殺しです。」(第1ヨハネ3章15節)

あなたは天国に行くでしょうか? ここに簡単なテストがあります。あなたはうそをついたことがありますか? 何かを盗んだことがありますか? 神の御名をみだりに使ったことがありますか? 情欲を持って見たことがありますか? ヤコブ2章10節は、「律法全体を守つても、ひとつの点でつまずくなら、その人はすべてを犯した者となつたのです。」と言っています。あなたは裁きの日罪があるでしょうか? もしあなたがこれらのことをしたことがあるなら、神は、あなたを、うそつきで、盗人で、神を冒瀆し、また心で姦淫を犯す者とみなされます。聖書は、もし罪があるなら地獄に行くことになると警告しています。神は、十字架上で苦しんで死ぬために御子を送って下さいました。イエスは罪の罰を代わりに受けてくださったのです。「神は、実に、そのひとり子をお与えになつたほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちをもつためである。」(ヨハネ3章16節) それからイエスは死からよみがえられて、死に打ち勝たれました。今日、罪を悔い改めてイエスを信じてください。そうすれば、神が永遠のいのちを与えてくださいます。聖書を読み、聖書に書いてあることに従ってください。

神のみことば I

あなたは救われなければなりません。「まことに、まことに、あなたに告げます。人は新しく生まれなければ、神の国を見ることはできません。」(ヨハネ3章3節) 私たちは皆、羊のようにさまよいおのおの自分勝手な道に向かつて行つたのです。神の道を離れて、自分勝手に自分の道を行つたのです。(イザヤ書53章6節)「しかし、わたし、主が心を探り、思いを調べ、それぞれその生き方により、行いの結ぶ実によって報いる。(エレミヤ17章10節) あなたは、罪を悔い改めて、神のほうに来ないなら、滅びます。(ルカ13章3節) 自分で自分を救うことはできません。神が私たちに救ってくださるのは、私たちが何か良い行いをしたからではなくて、神のあわれみによるのです。神は私たちの罪を洗い流し、聖霊によって新しく生まれ変わらせ、新しいいのちを下されたのです。(テトス3章5節) 人それぞれの目にはまっすぐに見える道があります。しかし、その道の終わりは死なのです。(箴言14章12節) イエスは言われました。「わたしは道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、誰ひとり父のみもとに来ることはできません。」(ヨハネ14章6節) 誰も、律法の命令を守ることで、神と正しい関係になることはできません。律法は単に、私たちがいかに罪深いかわすだけなのです。(ローマ3章20節) 神が私たちのために救いを備えてくださったのです。イエスは、私たちが罪に対して死んで正しい生き方ができるようになるために、十字架の上で私たちの罪を背負ってくださいました。キリストの打ち傷のゆえに私たちはいやされたのです。(第1ペテロ2章24節) キリストは罪のために死なれ、葬られましたが、三日目に死からよみがえられました。(第1コリント15章3-4節) あなたが信じたとき、恵みによってあなたを救ってくださったのです。それで、自分のせいで救われたと思つてはなりません。なぜなら、救いは神からの賜物なのですから。救いは私たちが良い行いをしたその報酬だというわけではありません。それで、誰も誇ることはできません。(エペソ2章8-9節)

神のみことば II

神のみ言葉を信じて救われなさい。イエスは言われました。「あなたがたが、神が遣わした者を信じること、それが神のわざです。」（ヨハネ6章29節）「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしのメッセージを聞いて、わたしを遣わされた神を信じる者は永遠のいのちを持つのです。彼らはもう罪に定められることはありません。すでに死からいのちへと移されているのです。」（ヨハネ5章24節）「御子を持つ者はいのちをもっており、神の御子を持たない者はいのちをもっておりません。私が神の御子の名を信じているあなたがたに対して、これらのことを書いたのは、あなたがたが永遠のいのちをもっていることをあなたがたに良くわからせるためです。」（第1ヨハネ5章12-13節）人前でイエスを告白しなさい。「もし誰でも、わたしとわたしのことばとを恥と思うなら、人の子も、、、そのような人のことを恥とします。」（ルカ9章26節）「あなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと信じるなら、あなたは救われるからです。人は心に信じて義（神と正しい関係にある）と認められ、口で告白して救われるのです。」（ローマ10章9-10節）救われた信仰は良い行いを産み出します。自分には信仰があると言っても、行いでそれを示さないなら何の役に立ちましょう？（ヤコブ2章14節）なぜなら、神はあなたのうちで働いておられ、神を喜ばせることをしたいという願いを起こさせ、またそれを実行する力をも与えてくださるのです。（ピリピ2章13節）そうです。私たちは一人ひとり神の御前で自分の行いについて申し開きをすることになります。（ローマ14章12節）しかし、あなたが主に仕えるのを拒むなら、「あなたがたが、誰に仕えるか仕えようと思うものを、きょうどれでも選ぶがよい。私と私の家は主に仕える。」（ヨシヤ24章15節）

神の単純な救いの計画I

人生で最も重要な質問は、死んだら天国に行けるかという質問です。神は、天国に行くためには、「新しく生まれなければならない。」（ヨハネ3章7節）と言われます。神は聖書の中で、どうしたら新しく生まれることができるかという計画を示されました。まず第一に、自分が罪人であることを認識しなければなりません。「すべての人が罪を犯したので、神からの栄誉を受けることができず、（つまり神の栄光に達しない、神の水準に達することができない。）」（ローマ3章23節）あなたは罪人なので、死を宣告されています。「罪から来る報酬は死です。」（ローマ6章23節）この死には地獄で永遠に神から離別されることが含まれています。人間は一度死ぬことと死後に裁きを受けることが定まっているのです。（ヘブル書9章27節）しかし、神はあなたを愛しておられるので、ひとり子イエスをあなたの罪の身代わりとしてくださり、イエスはあなたの罪を背負って十字架で死んでくださいました。それほど、神はあなたを愛しておられるのです。「しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに対するご自身の愛を明らかにしておられます。」（ローマ5章8節）私たちには、神がそれをどのようにしてされたのか理解できませんが、神はイエスの上に私たちの罪を載せ、イエスが私たちの代わりに死なれたと、神は言っておられます。「神は、今は、どこでもすべての人に悔い改めを命じておられます。」（使徒伝17章30節）悔い改めるとは、自分の罪に背を向けて、自分が罪人であることを告白し、イエスが十字架で死んでくださったことを認めることです。質問:救われるためには何をしなければなりませんか？（使徒伝16章30節）答え:主イエスを、あなたの罪を背負って、十字架であなたの身代わりとして死んで、葬られた後、神がよみがえらせて下さったお方だと信じなさい。復活は、私たちがイエスを救い主として信じ受け入れるとき、私たちには永遠のいのちがあるということを力強く

確信させてくれます。「しかし、このかたを受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子供とされる特権をお与えになった。」（ヨハネ1章12節）

神の単純な救いの計画 II

「主の御名を呼び求める者は、誰でも救われる。」（ローマ10章13節）信じなさい。そうすれば救われます。どんな教会もよい行いもあなたを救うことはできません。思い出してください、救いの業は神がされるのです。神の簡単な救いの計画は:あなたは罪人である。悔い改めてあなたの代わりに罪を背負って死んでくださったイエスを信じないなら、あなたは地獄で永遠を過ごすことになるのです。もし、イエスは十字架で死んで、葬られ、復活された救い主だとあなたが信じるなら、あなたはすべての罪を赦され、信仰によって永遠の救いという賜物をいただくことができるのです。もし、この神の救いの計画がはつきりしないなら、わかるまで、横に置かないで何度もこれを読んでください。あなたの魂は全世界よりももつと価値があるのです。「人は、たとえ全世界を得ても、いのち（魂）を損じたら、何の得がありましょう？」（マルコ8章36節）自分が救われているかどうか確かめてください。もし、あなたが魂を失くしたら、あなたは天国も、何もかも失うことになるのです。自分の感情をあてにしないで下さい。感情は常に変わるからです。いつも変わらない神の約束の上に立ってください。救われたら、霊的成長のために日課とすべきことが三つあります。まず、祈ること。つまり、神と会話することです。二番目は聖書を読むこと。そうすれば、神があなたに語りかけてくださるからです。最後にあなたの信仰について他の人に話すこと。そうすれば、神のために話すことになるからです。私たちの主について他の人に話すのを絶対に恥としてはなりません。（第2テモテ1章8節）「ですから、わたしを人の前で認める者はみな、わたしも、天におられるわたしの父の前でその人を認めましょう。」（マタイ10章32節）あなたの救いの公の証しとして、主イエスキリストに従うために、バプテズマ（洗礼）を受けるべきです。そして、聖書的な教会の一員となるべきです。